

原城跡



南島原ガイドの会 有馬の郷の皆さん

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つ、原城跡は、島原・天草一揆の終焉の地として知られます。2世紀以上にわたり、キリシタンたちが潜伏し、信仰を守り続ける重要な“きっかけ、となりました。南島原市の観光PRキャラクター「ベイガ船長」との撮影に協力してくれたのは「南島原ガイドの会 有馬の郷」の皆さん。「原城跡はダイナミックで大きな石垣が魅力。山や海に囲まれ、手付かずの美しい景色も楽しむことができます(森副会長)」

南島原ガイドの会 有馬の郷
(事務局・南島原ひまわり観光協会)

ところ 南島原市南有馬町乙1395
(有馬キリシタン遺産記念館2階)
営業 8時45分～17時30分
※12月29日～1月3日は休館
☎0957-65-6333

「顔見知りのお客さんが増えて、自分が南島原に溶け込んでいくのを実感しました。子どもの時には魅力を感じなかった地元がどんどん好きになります。」

「インスタ見たよ」「おいしそうだった」など、寄せられる反響にカルロニーさんは大きなやりがいを感じています。

届けたいたのは祖父、父、弟の3代の職人が込める菓子へのこだわり。「例えばカステラのレシピは完成しているはずなのに、いまだに材料や製法をより良くしようと研究している。そういう思いをきちんと言葉にして伝えたい。」

なつみさん、休日でも市内から出なくなりまして」とカルロニーさんは語ります。活動は同店にとどまらず、地元のコミュニティFMの番組にレギュラー出演。南蛮菓子の歴史など、菓子や地域の楽しい話題を発信しています。

夫のエマヌエーレさんはイタリア出身。かつて同国出身の宣教師・ヴァリニャーノが南島原市で布教活動をした歴史がつながり、国際交流員として来日することに。「紡いできた歴史を受け継いで、新しい化学反応を生み出せたら」。おいしい菓子が喜んでもらうことを一番に、地域に元気を届けています。

地元の特産品を使った「めんたいイカスミそうめん」



地元の特産品、島原手延そうめんを使った「めんたいイカスミそうめん」

そうめんCafe KOYORI

長年愛されながら閉店したそうめん専門店の店主から味と想いを受け継ぎ、2025年にオープン。イカスミが練り込まれた島原手延そうめんを炒め、昆布や煮干し、かつお節などで取った、だして味付けた「めんたいイカスミそうめん」のほか、バスケットケーキなどの手作りスイーツも人気。

ところ 南島原市西有家町里坊93-1
営業 11時～16時
(ゴールデンウィーク付近から10月までは10時～17時)
※水曜定休
☎090-4999-2949



店長 苑田 直人さん



南島原のレモン香る「碧の檸檬」



南島原市で育ったグリーンレモンを余すことなく使用した「碧の檸檬」

Gâteau friand
ーガトーフリアンー

南島原市の農園で育てられた果実を使ったグリーンレモンケーキ「碧の檸檬」。生地には果汁や皮をふんだんに使っており、バターにも負けない爽やかな香りと酸味の強さが特徴。表面を覆う糖衣にも果汁が入っており、農家さんの愛情が詰まったレモンを余すことなく使った一品です。

ところ 南島原市深江町丙1926-17
営業 10時～18時
※水曜定休(不定休あり)
☎0957-72-3009



オーナーシェフ 中村 真幸さん



地域のニューストピックを紹介

世界遺産センターが2026年度に開業予定

2026年度に開業予定の「世界遺産センター」が、世界文化遺産「原城跡」の隣接地に建設中です。センターは木造平屋建てでガイダンス、観光案内、物産販売の3つの機能で構成。ガイダンス施設では、原城跡の出土品展示をはじめ、全国の博物館や資料館などにある「島原・天草一揆」に関する絵図のデジタル展示の準備も進められています。

歴史ロマンを受け継ぎ
菓子で地元の魅力発信地域
特集kon-ne
南島原

南島原市口之津町
本田屋かすてら本舗 広報
カルロニー・なつみさん

戦国時代に南蛮貿易で栄えた南島原市口之津町。その海外交流史を物語る南蛮菓子を通じて、地元の魅力を発信する女性がいいます。

島原半島南端に位置する同町は16世紀半ばにポルトガル船が来航し、キリスト教布教の拠点になりました。開港地で活動した宣教師らが伝えたカステラや丸ボーロといった南蛮菓子は受け継がれ、現在も親しまれています。

「宣教師たちが地元の人たちと交流を深めるために振る舞ったのがお菓子とお酒だったといわれています。口之津では今も習慣的にお菓子がよく食べられるんですよ。そう話すのは同町の老舗菓子店「本田屋かすてら本舗」広報のカルロニー・なつみさん。

家族で営む同店の長女として生まれ、大学進学を機に県外へ。そのまま家具貿易会社や飲食店で働きましたが、自分の中でしっくりこない感覚があり、2021年に約10年ぶりにUターン。以来、同店の接客のほか、ウェブサイトやSNSでの発信に取り組んでいます。

鮎帰りの滝



有家川の上流に位置する滝。江戸時代の画家があまりの美しさに描ききれず、筆を捨てたという逸話が残ります。滝の上部には千畳敷があり、夏は水遊びのスポットとして人気。秋は千畳敷に舞い落ちる紅葉も見どころです。

南島原市桜まつり



3月下旬から4月上旬ごろに開催。島原手延そうめんを食べた杯数を競う「わんこそうめん大会」や市内のスイーツが楽しめるイベントなどがあります。「南島原桜めぐり」と題し、市内の桜の名所もライトアップされます。